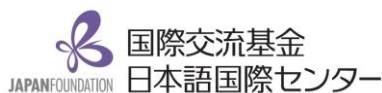


読解の教え方

Unit 1 準備 Part 2 「読み」のしくみ



1. はじめに

このパートでは、「読み」のしくみについて学びます。「読み」のしくみとは、私たちがテキストを読んで理解するメカニズムのことです。テキストを読んでいるとき、私たちは頭の中で何をしているのでしょうか。より速く、より正確に読むためにどんなくふうをしているのでしょうか。

- このパートのキーワード

トップダウン ボトムアップ 相互交流
すいそく スキーマ ストラテジー
推測

2. 「読み」の過程^{かてい}

読んでいるとき、読み手の頭の中で起きていることを「読み」の過程と言います。この「読み」の過程を私たちにわかりやすく示^{しめ}しているものを「読み」のモデルと呼んでいます。「読み」の過程には、次のような 3 つのモデルがあります。

(1) ボトムアップ・モデル

ボトムアップ・モデルは、テキストを読むとき、文字から単語、単語から文へというように、こ

とばの小さい^{たんい}単位から少しずつ大きい単位へと「読み」を進めていると考えるモデルです。

「下から上へ読み進めていく」という意味で「ボトムアップ・モデル」と言います。このモデルでは、読み手は、テキストの情報をそのまま受け取っていると考えています。パート 1 で見た「ゆっくり、じっくり読む」のは、ボトムアップ中心の読み方です。

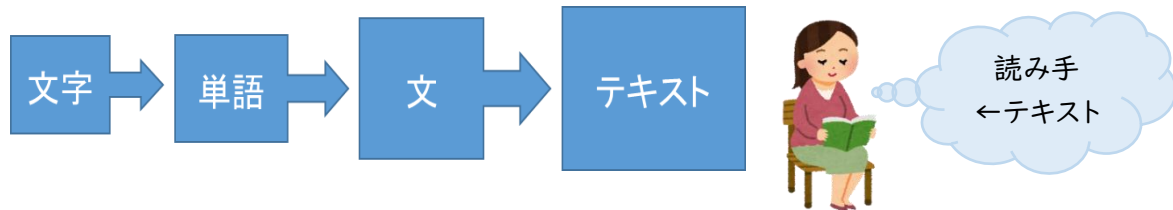


図 1 ボトムアップ・モデルのイメージ

(2) トップダウン・モデル

トップダウン・モデルは、テキストを読むとき、読み手は目的をもって、予測^{よそく}や推測^{すいそく}をしながら読んでいて考えるモデルです。予測や推測をして考えたことを仮説^{かせつ}といいます。読み手は、仮説が正しいかどうか確認したり、まちがっていたら修正^{しゅうせい}したりしながら読み進めていきます。

読み手の頭の中にある予測、推測などの抽象的^{ちゅうしょうてき}なもの[トップ]からテキストの文字に下りていく[ダウン]という意味でトップダウン・モデルと言います。このモデルでは、読み手は、予測や推測によってテキストに働きかけていると考えます。パート 1 で見た「速く読む」のは、トップダウン中心の読み方です。

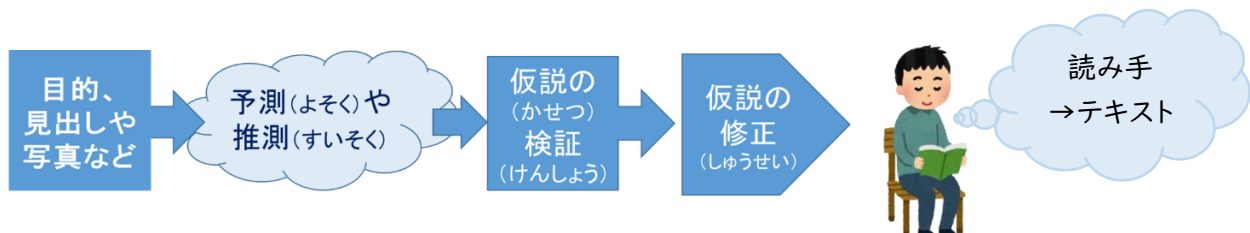


図 2 トップダウン・モデルのイメージ

(3) 相互交流モデル^{そうごこうりゅう}

相互交流モデルは、テキストを読むとき、読み手はトップダウンとボトムアップの2つのモデルを相互に交流させて読んでいると考えるモデルです。ことばの知識が少なく、内容の知識が多いときはトップダウン・モデル、逆^{ぎゃく}のときはボトムアップ・モデルを使います。このモデルでは、読解はテキストの情報と、読み手の予測や推測などのテキストへの働きかけとの相互^{そうご}作用^{さよう}であると考えます。

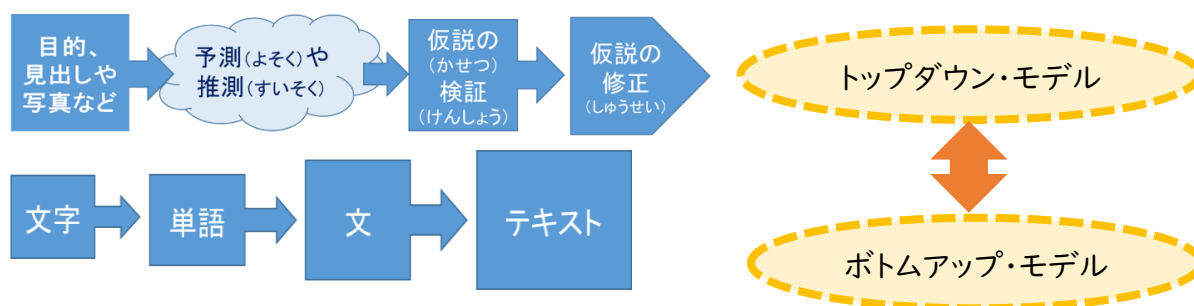


図3 相互交流モデルのイメージ

3. スキーマの活用

トップダウン・モデルや相互交流モデルの読み方では、読み手はテキストの内容を予測したり推測したりしています。このときに大切なものに、スキーマがあります。

スキーマの説明をする前に、小さい読解の体験をしてみましょう。

まず、①を読んでください。黒い四角(■)にどんなことばが入ると思いますか。

①毎日会社へ行って、仕事をして、うちへ帰ったら疲れて一日が終わります。私は、■がほしくなりました。

続けて②を読んでください。あなたの考えは前と変わりましたか。

②そこでショッピングサイトで最新型のものを一台買うことにしました。

①のテキストを読んだとき、皆さんは「いそがしい会社員」がほしくなるものとして、休みや友達、ペットなどを考えたかもしれません。



②のテキストを読んで、ペット型ロボットや機

械式マッサージチェアを思いついた人が

いたかもしれません。これは、「ショッピン

グサイト」「最新型」ということばから考え

たでしょう。このように、わからないことば



の意味を推測するとき、私たちは、関係があるものについての知識や情報もいっしょに使っています。このような知識や情報をスキーマと言います。

スキーマとは、一人ひとりの頭の中に整理され、構造化されている知識や情報のことです。

スキーマは、新しい情報や経験などによって作り直されていくものです。テキストの内容を予測したり推測したりするとき、私たちは、テキストからの情報だけでなく、一人ひとりの読み手が持っている「スキーマ」も使っています。スキーマによって誤解することもあります。スキーマを上手に使うと、速く効率的に読むことができます。

4. 「読み」のストラテジー

私たちは、スキーマを使ってトップダウン・モデルの読み方をしたり、ことばに注目してボトムアップ・モデルの読み方をしたりして、2つの読み方を切り替えながら、効果的に、効率的に読もうとしています。そのときに、表 1 のような、いろいろなストラテジーを使っています。

ボトムアップ・モデルの読み方で使われるストラテジーには、大事なことばに注目したり、内容を整理したりして、よりくわしく、正確に読むためのストラテジーがあります。トップダウン・モデルの読み方で使われるストラテジーには、必要な情報や大切な情報を探して、より速く、より効率的に読むためのストラテジーがあります。

表 1 「読み」のストラテジーの例

ボトムアップ・モデルの読み方	トップダウン・モデルの読み方
① 新しいことばを確認する	④ 必要な情報だけを速く探す
② 接続詞や指示語に注目して、文と文の関係を考えながら読む	⑤ ざっと読んで全体の大意をつかむ
③ 細かい内容を、表や図に整理していく	⑥ 予測しながら読み進む
	⑦ 大切なことばや文を見つけて、ほかのところは読み飛ばす

【タスク 1】 スポーツのニュースと専門分野の論文を例に、どんな読み方やストラテジーを使うか考えてみましょう。

*読み方は、トップダウン(T)、ボトムアップ(B)で教えてください。

**ストラテジーは、表 1 の①～⑦の番号で教えてください。



テキスト	目的	読み方*	ストラテジー**
スポーツのニュース	好きなチームの試合結果を知る		
専門分野の論文	最近の研究について知りたい		
	論文の大事な部分を要約して会議で発表する		

スポーツのニュースを読むときは、好きなチームの試合結果を知るために読むことが多いでしょう。目的がはっきりしていて、^{ぐたいてき}具体的ですから、トップダウンの読み方が使われます。ニュースの中で、スポーツの種類や好きなチームの名前、試合のスコアなど、必要な情報を探します。そして、それ以外のところは読み飛ばします。これは、どちらもトップダウンの読み方のストラテジーです。

専門分野の論文を読むときは、目的がいくつか考えられます。仕事の参考のために、最近の研究について知りたいという目的だったら、ざっと読んで全体の^{たいい}大意をつかむトップダウンのストラテジーが使われます。論文の大事な部分を^{ようやく}要約して会議で発表するために読むなら、ある程度^{ていど}くわしく、正確に読む必要があります。ボトムアップの読み方をして、書かれている内容を、表や図に^{せいり}整理するストラテジーがよく使われるでしょう。

【タスク 2】 あなたは、生活の中でどんなテキストを読むとき、どんなストラテジーを使っていますか。トップダウンの例とボトムアップの読み方の例を一つずつ書いてください。

テキスト	目的	読み方*	ストラテジー**
		T	
		B	

5. まとめ

私たちは、テキストを読むとき、トップダウンとボトムアップの読みを切り替えながら、相互交流モデルの読み方を使って読んでいます。

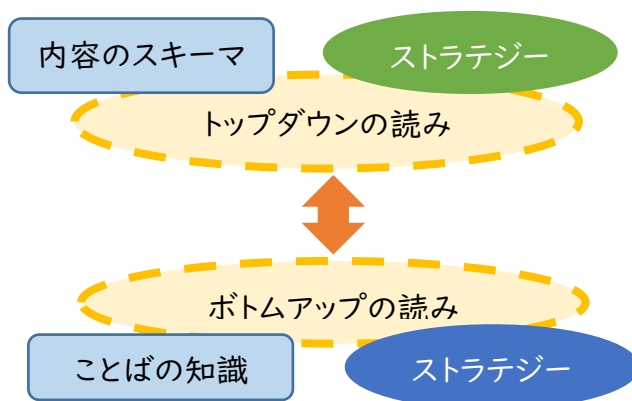


図4 「読み」のしくみのイメージ

「読み」には、スキーマやストラテジーが大きな役割をはたしています。上手な読み手はスキーマやストラテジーを効果的に使って効率的に読んでいます。言いかえると、読むことが上手になるためには、スキーマやストラテジーの使い方を知って、その使い方を練習する必要があります。

【タスク 3】あなたは、今までの日本語学習でスキーマやストラテジーの使い方を学んだことがありますか。また、日本語教師として、スキーマやストラテジーの使い方を教えたことがありますか。それはどんな方法でしたか。思い出して書いてください。

スキーマ	
ストラテジー	

■ このパートの参考文献と参考サイト

- 国際交流基金(2006)『読むことを教える』(国際交流基金 日本語教授法シリーズ 7)

ひつじ書房

タスクの答え

【タスク 1】

テキスト	目的	読み方*	ストラテジー**
スポーツの ニュース	好きなチームの試合結果を知る	T	④⑦
専門分野の 論文	最近の研究について知りたい	T	⑤(④⑥⑦)
	論文の大事な部分を要約して会議で発表 する	B	③(①②)

【タスク 2】(答えなし)

【タスク 3】(答えなし)